



令和3年度(第76回)文化庁芸術祭参加公演

令和3年11月5日(金) 18:30開場 / 19:00開演

ところ 京都府立府民ホールアルテイ

京都市上京区烏丸通り一条下ル TEL 075-441-1141

入場料 前売5,000円 当日5,500円 (自由席)

●入場券取扱い

京都府立府民ホールアルテイ(TEL 075-441-1141)または左記事務局
まで、電話、FAX、Eメールのいずれかにて、住所・氏名・ご連絡先電話番号とチケット
の枚数をお知らせください。ご自宅まで郵送させていただきます。

※就学前のお子様までご入場はご遠慮ください。

創作と伝統

三好荒山 尺八リサイタル(53) —ファイナル—

演目

合奏曲 緩急 (唯是震一 委囑曲・一九七一年作曲)

尺八独奏曲 混色

(ジョン海山ネプチューン 委囑曲・一九七七年作曲)

尺八とハープの為の寓話 第三番

(芝祐靖 委囑曲・一九八八年作曲)

都山流本曲 朝風 (流祖中尾都山・一九三八年作曲)

地歌 残月 (峰崎勾当 作曲)

●後援 (公社) 日本三曲協会

(公財) 京都市芸術文化協会

(公財) 都山流尺八楽会

(公財) 日本伝統文化振興財団

(一財) 本願寺文化興隆財団

ジャポニスム振興会

(有) 邦楽ジャーナル

京都音楽家クラブ

京都三曲協会

●事務局 京都市北区大宮薬師山東町11-13

TEL (075) 371-8972

FAX (075) 492-9404

E-mail genzan@genzan.co.jp

※裏面をご覧ください

客 演 富山清琴 (人間国宝) (三弦)

奥田雅楽之一 (三弦)

大谷祥子 (箏)

三好晃子 (箏)

北村愛里 (十七絃)

瀧北榮山 (尺八)

松村衣里 (ハープ)

三好 荒山
尺八リサイタル (53)

創作と伝統

日本の伝統楽器尺八には色々な（音色）があります。古く江戸時代には修行の為、精神的な場で吹かれていました。現在は楽器として、音楽として吹かれています。今回は今までに作曲家に委嘱していただいた3曲に加え、古典曲を加えた5曲を演奏します。素晴らしいゲストとの競演による、日本の誇る和の音をお楽しみください。

The traditional Japanese flute Shakuhachi has many faces or tones. Back in the Edo period, the shakuhachi was played as part of one's spiritual and mental training. Now it is used as a musical instrument. In addition to 3 original pieces composed by various composers, we added some traditional pieces to bring you 5 pieces for this event. It will be a wonderful gathering with talented guests. Please enjoy Japan's pride - the sound of 'wa' - through this concert.

プロフィール



三好 荒山 (尺八)

京田辺市生まれ。幼少より富井舜山に師事。箏曲家である母（三好敦子）の影響で高校生の頃より演奏活動を行う。演奏は古典がベースであるがポップス・ジャズ等、西洋音楽との共演も多く、幅の広い演奏家である。又、教育者としても多くの門人（職格者100人以上）を育てる一方外務省からの要請で多くの国で日本伝統文化の紹介に貢献。近年はCD18枚からなる地歌の収録や制作、イベントプロデューサーとして活躍をする。

京都府文化賞功労賞受賞。京都市文化芸術協会賞。大阪府文化祭奨励賞。都山流竹琳軒大師範。清亮社社主。邦楽アンサンブルみやこ風韻団長。初心の会会員。日本三曲協会、杉並三曲協会、京都、宇治三曲協会会員。



富山 清琴 (人間国宝) (三弦)

1950年、初代富山清琴の長男として東京に生まれる。73年、東京藝術大学を卒業。86、89、91年、文化庁芸術祭賞受賞。2000年、富山清琴を襲名し、生田流清音会の家元を継承。04年、日本芸術院賞受賞。06年、松尾芸能賞優秀賞受賞。09年、重要無形文化財保持者（人間国宝）認定。11年、紫綬褒章受賞。18年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章。20年度まで東京藝術大学特任教授を務める。公益社団法人日本三曲協会名誉会長。



奥田 雅楽之一 (三弦・正派邦楽会 副家元)

正派初代家元・中島雅楽之都の首孫として生まれる。幼少より正派宗家・祖母・中島靖子に箏を師事。作曲家で箏曲家の祖父・唯是震一に三弦を師事。後年、森雄士師に宮城胡弓を師事。二代目富山清琴師（人間国宝）に三味線音楽「作物」を師事。四世萩岡松韻師に山田流箏曲を師事。富樫教子師に九州系地歌三弦を師事。今井勉師に平家琵琶を師事。現在：(公社)日本三曲協会会員、生田流協会会員、現代邦楽作曲家連盟会員、(公財)正派邦楽会常務理事、株式会社N.Y.C.代表取締役、正派邦楽会副家元。



大谷 祥子 (箏)

箏曲家。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。賢順記念全国コンクール1位。平成13年度文化庁インターンシップ研修生。平成25年度文化庁芸術祭新人賞受賞。福井県あわら市にある吉崎御坊蓮如上人記念館館長、京都市「DO YOU KYOTO?」大使。本願寺文化興隆財団参議。大谷邦楽院主宰。みやこ風韻副団長。ジャポニスム振興会副会長などを務める。



三好 晃子 (箏)

生田流京都當道会下派に所属。准師範。祖母に三好敦子、父に三好荒山を持つ環境の中、幼少の頃より琴、三弦を学ぶ。後に藤井久仁江（人間国宝）にも師事。数少ない京流柳川三味線を演奏。海外公演をはじめ関西中心に演奏活動。文化庁、(一社)京都當道会所属。芸文協、京都音楽家クラブ会員。伝統音楽邦楽指導者。ノートルダム学院小学校他、邦楽部の指導。琴秀会主宰。



北村 愛里 (十七絃)

石川県金沢市出身。幼少の頃より箏を北村雅楽弓に師事。自宅、高校、カルチャーセンターなどで箏の講師として指導し、各種演奏会に出演、コンクールにて入賞。ソロ演奏活動の他、和楽器・洋楽器・歌手・ダンサーなどと共演。令和二年度石川県文化奨励賞受賞。(公財)生田流正派邦楽会大師範。北陸正派合奏団団員。石川県三曲協会会員。白山市鶴来音楽文化協会会員。生涯学習音楽指導員。



松村 衣里 (ハープ・京都市交響楽団)

フランス・リヨン国立高等音楽院ハープ科首席卒業。フランス国家音楽高等研究資格取得。卒業後、野村国際文化財団のバックアップによりヨーロッパで研鑽を積み帰国。国内外のオーケストラへの客演などオーケストラ奏者として、ソリストとして幅広い演奏活動を展開している。また新作の初演など現代音楽にも意欲的に取り組んでいる。姉・松村多嘉代とのハープ・デュオ・ファルファーレで2009年10月にCD「眠れる森のファルファーレ」、2013年4月に「不思議の国のファルファーレ」をリリース。第10回日本ハープコンクール（国際コンクール）プロフェッショナル部門優勝ほか多数受賞。田淵順子、木村茉莉、ファブリス・ビエールの各氏に師事。フランス国際ハープ協会会員。京都市交響楽団ハープ奏者、大阪音楽大学付属音楽院講師、大阪音楽大学非常勤講師。

<http://gold.ap.teacup.com/farfalle/>



瀧北 榮山 (尺八)

1993年、福岡県出身。10歳より始めた尺八を宮地牙山、三好荒山に師事。舞台音楽やレコーディング、ツアーサポート等多数参加。学校公演、講義も行っている。古典を基盤としつつも、jazzやpops、現代音楽など、音楽ジャンルは幅広く活動している。最近では尺八アンサンブルの委嘱作品を多く初演、発表しその音楽性を上げている。2016年には和太鼓奏者 岩切響一と共に、「岩切響一&瀧北榮山 全国コンサートツアー2016」を展開。2018年、jazz album「innocence」をリリース。2019年、福岡にて「瀧北榮山 尺八リサイタル」を開催。東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻卒業。同大学大学院修士課程音楽研究科修了。